

心ときめく 装飾美

令和6年1月20日発行 (毎月1回20日発行)
第43巻第1号通巻504号
昭和57年6月9日第三種郵便物認可

美術の窓

1

January

2024

No. 484

THE WINDOW OF ARTS

装飾美

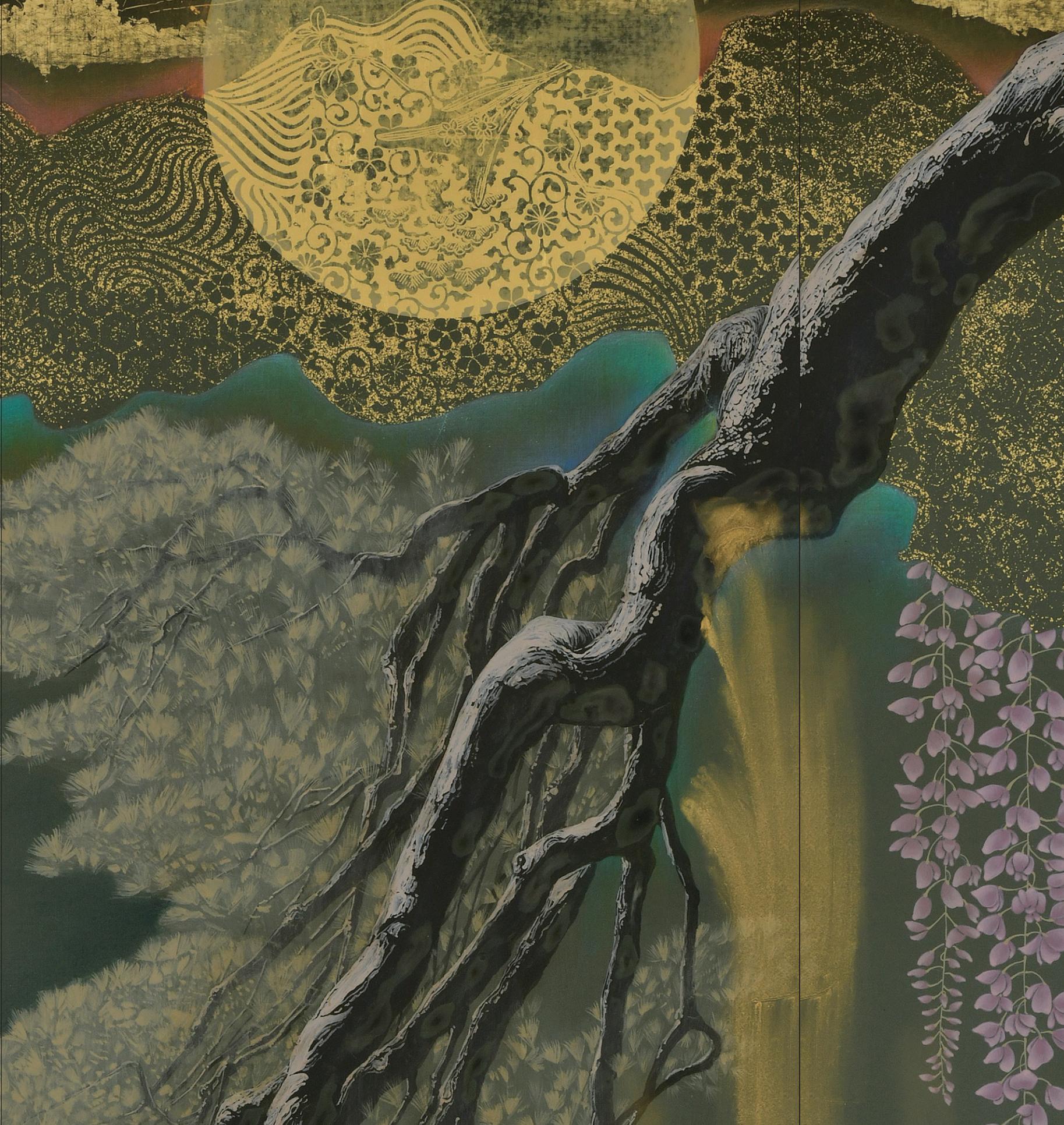
心ときめく

日本人と装飾
玉蟲敏子

装飾は生命力の源
鶴岡真弓

キラキラ画材
描き比べ

技法講座 東西の伝統技法に学ぶ神秘的なマチエール〈後編〉藤島大千 公募展便り 立軌展・都展・日展
太陽美術展・新芸術展・JAG展・中美展・現代童画展・群炎展・清興展・日本版画会展・近代日本美術協会展・日輝展・現創展



「松韻春宵」2023年 アクリル、和紙 130×97cm

智内兄助

ちない・きょうすけ

1948年愛媛県生まれ。東京藝術大学大学院修了。安井賞など数々の賞を受賞。世界のコレクターを魅了している。

1980年、娘・久美子（2歳）を描くにあたり、強い決意で着物を纏わせたことが装飾への傾斜を決定づけた。纏い動く着物の工芸性と、平面の絵画としての芸術性から全てを学んだ。その到達点は、江戸時代の重文、「ひら東の熨斗しもんようふりぞで様振袖」にあると思う。この「松韻春宵」も振袖雛形を思い起こさせることだろう。